



## 研究テーマ

## 1 中小会社会計の適正性担保に関する研究

## 2 租税特別措置に係る適用実態調査等に関する考察



## 井藤 哉

いとう はじめ  
地域資源創成学部

准教授

## キーワード

財務会計、税務会計

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

共著『現代経営学の構図』  
五紘舎(2020年)

## 研究概要

財務会計は、企業の会計期間における営業活動の結果を企業外部の利害関係者に対して公表するものです。そのため、法律によって規制されています。私は、財務会計のうち、会社法会計と法人税法会計に関連する諸問題について研究を進めています。

## 1 中小会社会計の適正性担保に関する研究

本研究では、「中小企業の会計に関する指針」及び「中小企業の会計に関する基本要領」と法人税法との相克を念頭におき、今後の中小会社会計の適正性担保の方向性について考察しています。それらの考察をとおして、会計参与制度と書面添付制度がその役割を果たすという可能性について研究をすすめています。

また、どのような企業が中小企業とみなされるのか、法人税法、中小企業基本法および会社法における定義を概観し、定義の基となる中小企業を画する各指標の妥当性についても考察しています。中小企業における特例措置を例示し、近年における税制改正の動向を注視しながら、適用要件の今後の方向性についても興味を持っています。

## 2 租税特別措置に係る適用実態調査等に関する考察

本研究では、財務省の「租税特別措置の適用実態調査の結果に関する報告書」から租税特別措置の種類別による資本金階級別の適用状況について詳細に集計・分析しています。次に、総務省の「租税特別措置等に係る政策評価の点検結果」から点検結果の概要を集計・分析しています。それらを踏まえ、租税特別措置は、利用状況等を明確にし、必要性や政策効果をよく見極めた上で、見直しは行われているのか研究をすすめています。ひいては、中小企業税制のあり方についても興味を持っています。

## ホームページ

## 技術相談に応じられる関連分野

- ・社員向け会計学セミナー
- ・租税教室

## メッセージ

税理士としての実務経験があります。会計学を難しく考えることなく、お気軽にご相談ください。